

7階ユニット

看護師長 橋本 理恵

1 部門目標

地域周産期母子医療センターとして、市民の皆様に信頼される専門性の高い安心安全な看護を提供する

2 業務体制・スタッフ

病棟：一般病床（7：1看護体制）41床 MFICU（3：1看護体制）3床

外来：産科 婦人科 助産師外来

助産師 18名 看護師 11名 看護補助員 2名 看護クランク 1名

3 業務実績

1日平均患者数 23.9日 病床稼働率 56.8% 平均在院日数 9日

分娩数 634件

（正常分娩 284件 異常分娩 350件）（経膈分娩 388件、帝王切開 246件）

母体搬送 122件 NICU入院児 271名 婦人科手術数 60件

未受診妊婦 7件（前年度 16件）

4 1年間の総括

2019年度は、「協働」をキーワードに安全かつ個別的な看護を提供できるよう実践を行った。急変とグレードA対応へのシミュレーションを開催したことにより、安全な看護の提供に繋がった。また、受け持ちスタッフを中心にチーム内の連携をとり、個別性のある看護計画の立案・実践・評価を行い、患者中心の看護を行うようになっている。そして課題であった、「全ての入院患者の看護を地域につなげられるよう、地域と連携できるシステム構築をすること」に対しては、SMWと協働し、外来受診の早期からの入退院支援を行い個別的な介入と地域に繋げることが行えた。

5 今後の目標

地域周産期母子医療センターとして、母子の安全を守り、安心できる看護の提供を行っていくことは変わらず重要目標である。患者中心の看護を行い、地域と連携して母子の安全を守っていけるよう、産後のケアにも力を入れていく。